

～域内の活魚集荷体制を強化し、スムーズな都市部への出荷～
愛南漁業協同組合（愛媛県愛南町）

目詰まりの現状

愛南町は愛媛県の最南端に位置し、マダイやカンパチ等各種養殖魚の一大産地であるが、その多くは宇和島を中心とした大手商社経由で販売されるため、生産者側に価格の決定権がなく、厳しい経営を強いられている。当組合では、漁業所得向上のため、東京大田市場を拠点にした活魚流通に取り組んでいるものの、高速道路等の整備が遅れていること、リアス式海岸の複雑な地形のため道路が複雑なこと等により、既存の21tトラックでは集荷に多くの時間を要し、大田市場への出荷がタイトだけでなく、近隣市場へ展開する機会を逃している。

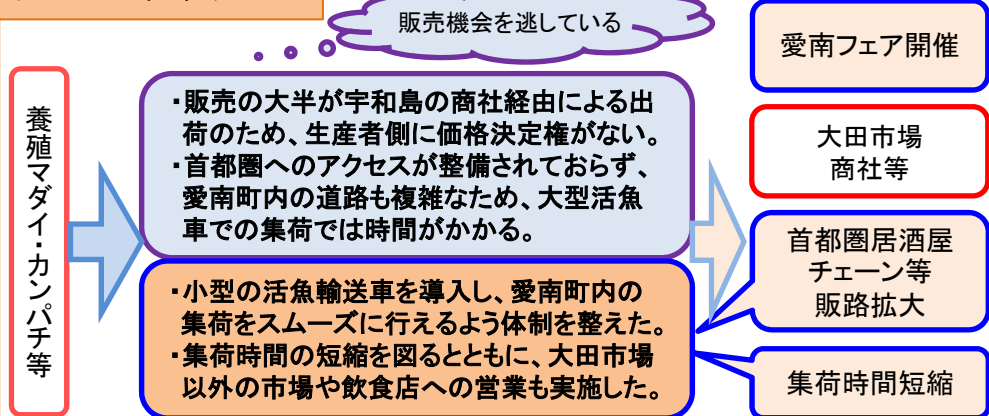
プロジェクトの概要

- 機動性の良い小型活魚運搬車を導入し、愛南町内の集荷体制を整備した。
- 町内の集荷時間の短縮を図り、大田市場のみならず近隣市場や居酒屋チェーン等への販売に取り組んだ。
- AEL(養殖エコラベル)認証を受けた商品の販売展開で、流通量の拡大及び愛南ブランドの確立や普及を図った。

取組による成果

- AEL認証商品による営業を行った結果、首都圏鮮魚店等で愛南フェアを開催。鮮度等の品質の評価も高く、継続的な取引に発展。
- 全国で約130店舗展開している居酒屋チェーンで愛南鯛フェアが開催され、愛南町水産物の認知度が向上。
- 愛媛県を襲った豪雨による被害の復旧のため活魚車を活用し、地域の活動にも貢献。

プロジェクトフロー



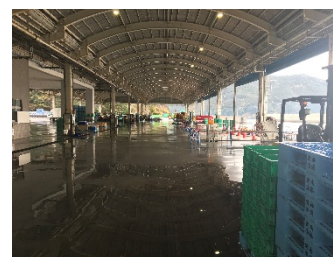
活魚輸送車



活魚水槽



愛南漁業協同組合 本所



(平成31年3月現在)